

# 「激変する北東アジア地域情勢に関する地政経済学的研究」 研究プロジェクト報告

## 1. 目的・活動内容

昨今の北東アジア地域では、朝鮮半島における北朝鮮の閉鎖・強硬態度の転換と南北融和ムードの出現、および米朝首脳会談の実現、韓国における保守政権から社民政権への政権交代と日本に対する批判的な政治的雰囲気形成、ロシアにおけるプーチン長期体制の構築と極東アジア地域開発への注力、中国における「AIIB 創設」や「一帯一路」戦略の推進を通じた巨大国パワーの顕示と新しい対外戦略の展開、およびそれに伴う米中貿易戦争の勃発など、さまざまな地政経済学的変化が見られる。

本研究では、これらの日本を取り巻く北東アジア周辺地域における政治、経済、社会、国際情勢などにおける変化に関する情報収集と実態分析、および地政経済学的視点（地理的、外交・軍事的、政治的、経済的側面の密接不可分の関係と諸関係の帰結に対する理解）に基づく新しい北東アジア地域社会経済（Political Economy）の分析枠組みを模索している。

研究計画期間（3年間）の第一年度にあたる本年度では、まずは先行研究のサーベイに基づく新しい分析枠組みの構築可能性について検討した。そして、北東アジア地域における新しい地政的、経済的変化に関する資料収集（国内調査を含む）を行った。また、国内外の研究機関に所属する関連領域の研究者らを招へいし、研究会等を開催し、知見と意見の交換を行いながら国際共同研究体制の構築に取り組んできた。

2019年度の研究活動の詳細は、以下の通りである。

表 2019年度「激変する北東アジア地域情勢に関する地政経済学的研究」研究会一覧

No.	項目	内容
1	開催日	2019年7月10日（水）17：20～19：20
	タイトル	US-China Conflict: Options for Japan
	講師（所属）	Prof. Mustapha Kamal Pasha（Aberystwyth University, Wales）
	参加人数	8名
2	開催日	2019年9月19日（木）18：00～21：00
	タイトル	米中貿易摩擦が中国の産業構造高度化に及ぼす影響
	講師（所属）	叶 軍（中国天津理工大学国際工商学院教授）
	参加人数	6名
3	開催日	2020年3月9日（月）15：00～18：00
	タイトル	氷上シルクロードと北東アジア地域協力
	講師（所属）	金 石柱（中国延辺大学・一帯一路与東北亜区域合作研究院長）
	参加人数	新型コロナウイルスの影響により中止

## 2. 研究会概要

### ■第1回 研究会

開催日：2019年7月10日（水）17：20～19：20

会場：立教大学 池袋キャンパス 12号館4階第2・第3共同研究室

報告：「US-China Conflict: Options for Japan」

報告者：Prof. Mustapha Kamal Pasha (Aberystwyth University, Wales)

概要：米中貿易戦争が深刻さを増している現状を踏まえ、国際政治学専門のM・Pasha先生を招へいし、米中貿易戦争の現状と本質、および日本の対応について講演していただいた。講演では、「米中貿易戦争」という名の下でヒートアップしている中国とアメリカの間の対立と争いは、実際は、「両巨大国家の間のパワーゲームであり、貿易という経済的な対立だけではなく、広く技術、外交、政治、などのさまざまな領域における対立と争い」、として理解する必要があることを説いた。また、この米中両国の間の対立に際して、日本は安全保障や政治の面ではアメリカに依存し、経済の面では中国に大きく依存していることから、取りうる対応は非常に限られているし、米中対立の先鋭化は、日本に百害あって一利なし、とPasha先生は結論つけていた。

### ■第2回 研究会

開催日：2019年9月19日（木）18：00～21：00

会場：立教大学 池袋キャンパス 12号館4階第2・第3共同研究室

報告：「米中貿易摩擦が中国の産業構造高度化に及ぼす影響」

報告者：叶 軍 (Ye Jun、中国天津理工大学国際工商学院教授)

概要：中米貿易戦争が先鋭化しつつあるなか、中国は輸出主導型成長から内需主導型成長に経済発展戦略を修正し、過剰生産能力の解消や産業構造高度化の実現に「供給側改革」を推進している。今回の講演会では、過熱する中米貿易戦争が新しい発展戦略となる産業構造高度化に及ぼす影響と中国政府の政策的対応について報告していただいた。報告の内容は、中米貿易摩擦の歴史的変遷と特徴、中米貿易摩擦の原因、中米貿易摩擦が中国の産業構造高度化に及ぼす影響、および中米貿易摩擦の中で、中国が採りうる対策、などが説明された。報告における、中米貿易摩擦の歴史的段階の説明においては、80年代の経済的摩擦、90年代の政治的摩擦、および2000年代における制度・体制間の摩擦、という論点、および今日における中国の脱工業化とアメリカの再工業化の間の対立と矛盾、という論点は、非常に的を得た議論で、大変な参考価値のある研究であった。

### ■第3回 研究会

開催日：2020年3月9日（月）15：00～18：00

会場：立教大学 池袋キャンパス 12号館4階第2・第3共同研究室

報告：「氷上シルクロードと北東アジア地域協力」

報告者：金 石柱 (Jin Shizhu, 中国延辺大学・一帯一路与東北亜区域合作研究院長)

概 要：新型コロナウイルスの影響により中止。

担当：巖成男 (本学経済学部教授)